

## 会員のひろば

### シルバーサロン運営委員 井上邦子(北稲八間)

私は平成18年10月、「せいかシルバーサロン」開設以来サロンの業務に係わって参りました。私達の役割は、会員の皆様に常に元気で生き生きとして仕事に励んでいただく事です。その為の一環として、会員相互の交流の場を設け就業を通じての意見交換、又情報提供等々、コーヒーを飲みながらほのぼのとした笑いの中で仲間づくり、生きがいづくりを図る事が出来ればと思っています。



又逆に、こんな事で困っているのをお願い出来ないだろうか等、会員やそれ以外の方々から仕事を提供する場として活用していただきシルバー人材センターの存在をアピール出来れば・・・と常に思いつづけて今日まで頑張っています。

最初は月1回から月3回(1日、10日、20日)更には年4回のイベントを組合せ、色々と趣向をこらし、訪れる皆様に如何に楽しく気分良い時を過ごしていただけるか、又、次回も足を運んでいただけるか、明日への希望を持ち帰っていただけたかどうかを祈る様な気持ちで会員の方々と接しております。

最近では、今年よりサロンのメンバーのそれぞれが自分の持っている特技を生かし、希望される方と共に楽しく手芸や体操等、指を動かし頭を活性化させ時の経つのも忘れ夢中で仕上りを目指し頑張っている皆さんのキラキラ輝いた目や生き生きした顔を見る時がサロンに入ってから本当に良かった、皆さんの何かのお役に立てて良かったとしみじみ感じる今日です。是非サロンに足をお運び下さい。

### 資格と経験を生かして

### 平田 慎男(馬淵)



平田さんはシルバー人材センターに入会されて5年目になり、現在は資格と経験を生かして植木剪定の業務に関わっておられます。

一般的に近頃は庭木の剪定を秋にする家庭が多いが、春秋いずれでも花が咲き終わった時期に剪定するのが理想で、あれこれ沢山の植木を植えるよりさっぱりとした庭で美観を楽しむ方が好きだとの事です。

最近は庭園も和風から洋風が変わってきているが美しい庭園とは、日本髪を結った女性の襟足が美しいように、樹木の裾をきれいに切り揃

える事が庭園を上品で美しく見せる基本であって秘訣でもあるとのこと。又、剪定で松の木が難しいといわれているが、どんな庭木でも枝の切る場所、切り方等で翌年の成長につなげることになり基本的な知識でもあるとの事です。

冬の寒さより夏の暑さの方が身体に厳しくつらいが「来年もまたお願いします！」と依頼者の方々から喜んでもらった声を聞くのが何よりも嬉しいし、趣味として植木の剪定を続けていてよかったと思うとの事です。

好きな庭木はとお聞きするとちょっと微笑みながら「赤く染まって夕日に照らされたモミジ」とお答えいただきました。

とても70歳とは思えないほど若々しく生きいきとされている平田さんでした。

暑い中、気持ち良く応えていただき有難うございました。(峰 昭子記)